

◆ “祝 新成人”

好天に恵まれた1月11日(月・祝)六郷北小学校体育館にて、令和2年度の学区成人式が執り行われました。学区の新成人は、男20名、女28名の計48名。この日の出席者は24名(男11名、女13名)でした。

新型コロナウイルス対策外出自粛規制で、その実施が危ぶまれましたが、なんとかして、新成人の門出を祝福しようと、区政協議会実行委員ら関係者が綿密な感染予防安全対策を計画しました。主な予防策として、消毒の徹底、検温、マスク・フェイスシールドの着用、三密を避ける、換気の徹底、所要時間の短縮を考慮。区の関係者とも打ち合わせの上、その実施計画に基づき、実施にこぎつけました。

式は、ご来賓、区政協議会メンバーが見守る中、君が代がながれたあと、新成人代表の「ともしび点灯」。「誓いのことば」の後、主催者の学区委員長の「挨拶」、「北区役所/大貫福祉部長、六郷北小/宮田校長の紹介・祝辞」と続き、「祝電披露」、「交通安全宣言」と、式は厳かに進行しました。アトラクションは、和太鼓サークル“馬っ子”による「祝太鼓」の演奏です。「大太鼓」、「小太鼓」等の力強い演奏で新成人の門出を祝福。新成人代表の「お礼の言葉」を以て、厳かに終了しました。この後、体育館は、記念撮影、茶話会で、華やかなさにあふれていました。これからの主役は、新成人の皆様です。責任と自覚を持った社会人を目指して頑張ってください。



◆ “見守り会” 活動

この活動は、平成19年(2007年)から六郷北小学校の児童の通学時の安全を図るため、父兄と、地域ボランティアで継続して行っているものです。フレンドリーの方や各町内の方々総勢、28名の方が参加されています。参加者は、一週間に一度の人、毎日の人とそれぞれですが、毎朝、各町内の分団集合場所から、校門まで、雨の日も、風の日も、雪の日も、暑い夏の日も、各自協力して、子供たちを見守り随伴しています。通学児童の元気な挨拶や、姿を見ながら、時には子ども達から元気をもらい、それを糧にして活動を続けています。

◆ “新成人の皆様へ”

令和3年の新年を迎え、本日ここに六郷北学区成人式を挙げるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

本日、成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。六郷北小学校卒業の新成人は、34名で本日24名の方が出席しております。皆様を今日まで愛情をこめて育てられたご両親、ご家族の皆様、又、ご指導いただきました先生方や地域住民の皆様に対して心からお礼とお喜び申し上げます。全国各地で成人式の中止や延期が報じられる中、多少の制約はありますが、こうして無事実施出来たことを心から嬉しく思います。

昨年より新型コロナウイルスの感染拡大により私達の日常生活に様々な変化が求められています。人との交流や接触、又イベント等が出来なくなりました。学区の行事も夏祭りはじめ、ほとんどの行事が中止になり非常に厳しい1年でした。

新成人の皆さん、成人とはどういう意味でしょうか?日本の法律では、年齢20歳をもって成人とする規定があり、法律的には20歳以上イコール大人として扱われます。又、一般社会において20歳とは、身体的、精神的に十分成熟する年齢とみなされます。つまり、皆さんの発言や行動の影響がよりおおくなり、それに伴って皆さんの社会的責任も大きくなるということです。コロナ禍の中で皆さんの行動が社会を変えて行くと言っても過言ではないと思います。

さて、皆さんは、自分が幸せだと感じるのはどんな時ですか?

1. 愛する人、家族と一緒にいる時
2. 人から褒められた時
3. 人の役に立てた時
4. 人に必要とされた時

その他にも感じることは沢山あると思いますが、全てのことが人とのコミュニケーションに関わっています。コロナ禍による自粛生活は今後も続くと思いますが、「お蔭さま」、「お互いさま」の気持ちがあれば、人とのトラブルは起こりません。コロナ禍の今、大切なのは自分や他者への「優しさ」です。「優しさ」を忘れずに一人一人が日頃の生活を見つめ直して下さい。

最後に新成人の皆さんとご出席いただいた皆様のご健勝とご多幸を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

区政協議会委員長 加藤文司

◇学区主催「ウォーキング」のお知らせ

とき:令和3年3月20日(土・祝)
場所:矢田川 河川敷コース
集合:木ヶ崎公園 9時50分(自転車可)
詳細は、ポスター、ビラをご参照下さい。

◆ “祝 開校40周年!!”

六郷北小学校は、昭和56年(1981年)に六郷小学校から、分離独立し、今年度開校40周年を迎えました。開校時の児童数は、414名(12クラス)。現在は、児童数165名(9クラス)と少人数になりました。学校の教育目標として、「時代や社会の変化に対応できる、心身ともに健康でたくましい実践力と人の関わりを大切にする心優しさを持った六郷北の子の育成を目指す」とし、①明るく元気な子、②よく考え粘り強くやりぬく子、③助け合い仲よく活動する子を標語にしています。

◆ “防犯活動”

日頃は、防犯活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。防犯委員は、各町内から1名から2名の参加があり、今年度は、15名で構成されています。防犯委員は、愛知県警察地域安全活動推進要領の「民間における体制の整備の小学校区単位における防犯連絡責任者」として活動しています。学区の皆様と接する機会としては、毎週、水曜日の夜の学区内パトロール(年間44回)、12月26日から29日の年末特別警戒防犯活動(4日間)、夏祭り盆踊り大会や学区運動会の自転車の配置整備、「安全呼び掛けポスター」の配布、「地域の安全ミニ垂れ幕」の傷んだ幕の交換等を行っています。また北警察での打ち合わせ会議が年間約5回、青パト集会在2回あります。北区の犯罪件数は、6年連続減少し、表彰を受けました。六郷北学区の犯罪件数は、一昨年34件、昨年は同数の34件でした。

防犯活動をして、最近本当に強く感じる場合があります。それは、窃盗空き巣などの犯罪とは違う「特殊詐欺」です。「オレオレ詐欺」で始まった「特殊詐欺」は、どんどん巧妙化し、「役所職員」、「金融機関職員」、時には堂々と「警察官」と名乗り、あなたの目の前に現れます。そして、「詐欺グループを逮捕したら、あなたの個人口座が偽造されていました。直ちに、キャッシュカードと暗証番号を書いて、私に渡してください」と、いいます。でも、これを聞いて、渡してはいけません。「これは完全な詐欺です」。絶対に、キャッシュカードは渡さない。暗証番号は教えない。そして、迷わず、直ちに警察へ連絡して下さい。

新型コロナ禍での詐欺は、「特別定額給付金詐欺」です。「10万円、振り込みますから、ATMへ行って下さい。着いたら、操作方法お教えします。」これには、ATMへ行かず、警察へ連絡してください。「給付金貰えるのに、なぜ警察へ」違います。これが、詐欺の巧妙な手口です。特殊詐欺は、スマホ、パソコンの中にも侵入してきます。皆さん、本当に気を付けて、毎日をお過ごし下さい。防犯委員長 岡島 守